日本海総合病院 心臓血管外科に通院歴のある患者さんへ

日本海総合病院では以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本機構倫理審査委員会の承認を得て行うものです。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	真腔狭小化を伴った B 型解離では血管径が狭小であっても大動脈関連合併症が発生し得る。(Narrow true lumen favors future complication even in small diameter of Type B aortic Dissection)
研究の実施体制	研究責任者: 中村健 研究分担者: 内野英明
研究の目的	日本海総合病院では急性大動脈解離B型を発症した患者に対し急性期の保存的治療を行い亜急性期以後は保存的治療を基本とした血圧コントロールに加え定期的なCTの撮影による病状評価を行なっている。大動脈解離の状態に悪化があった場合は予防的なステントグラフトによる治療や開胸下での手術も選択肢の一つであるが適応には慎重な判断を要する。今回、大動脈解離B型で亜急性期初期から保存的治療を開始した症例のCT画像および発症後の経過についてどのような症例でその後大動脈関連合併症が発生してくるか検討を行った。どのような症例で遠隔期に大動脈関連合併症が発生してくるかを予想することが早期の予防的TEVARの適応の判断に役立ち、良好な術後成績を上げる可能性があるためこれらについて検討を行った。
研究対象の方	実施施設において、 2016年2月1日～2019年5月31日までの期間に急性B型解離を発症し亜急性期以降に安静保存的治療が継続された症例。 除外基準(以下の患者を除外する) (1)Marfan症候群の患者 (2) 外傷性解離 (3) 急性期に合併症発生を伴った症例
個人情報の取り扱い	研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。 取り扱う情報には要配慮個人情報が含まれており、情報は紙媒体及び電子媒体で記録される。記録には患者氏名は含まれないが、研究に関する情報の公表においては、個人が特定されないように配慮する。
試料・情報の保管及び廃棄の方法	(1) 保存方法・期間 研究のために収集したデータや解析結果は、遮断されたコンピュータの外付けハードディスクで管理する。電子媒体は、研究終了後 5 年間保管する。 (2) 廃棄方法 保存期間終了後すみやかに、研究のために収集したデータや解析結果は破棄する。紙媒体は溶解あるいは細断処理し、電子媒体については再生不可能な状態に処理する。
問い合わせ先	日本海総合病院 心臓血管外科 中村 健 電話 0234-26-2001(代)